Alleima

COMPANY PROFILE

Alleima Japan K.K.

Advancing together

Alleima

代表取締役社長

加　藤　智　久

Greeting

ごあいさつ

アレイマは1862年に創業したスウェーデンに本社を置くグローバル企業グループで、製品は約90か国で販売されています。現在では、従業員数は全世界で約5,500人、年間売上高は約138億スウェーデンクローネ（約1,850億円）になります。

私たちAlleima（アレイマ）は、エネルギー、航空宇宙、化学、半導体、電子部品など、最も要求の厳しい産業向けに高度なステンレス鋼や特殊合金、また抵抗加熱用ヒーターなどの高付加価値製品やサービスを提供する世界有数のメーカーです。

“We advance industries through materials technology”「私たちは材料技術を通して、業界を前進させる」というミッションのもと、当社の製品とサービスは、お客様の生産性・製造プロセスの信頼性・コスト効率の改善に貢献すると同時に、お客様のエネルギー効率を高めることにより多様な工業分野における環境への負荷を軽減します。

材料技術の分野では当社のビジネスを発展させる機会は無限です。

私たちは、挑戦し失敗する勇気がある文化を促進しています。私たちは、新しいテクノロジーを用いて将来の課題を解決するエキサイティングな機会を従業員に提供します。お客様との緊密なパートナーシップのもと、それぞれの事業分野で成功してもらうための材料ソリューションを開発してまいります。

アレイマには顧客中心の文化があり、従業員全員が自社の製品とサービスがお客様のパフォーマンス向上にどのように役立つかを知っています。

私たちは問題解決者であり、材料ソリューションを探す際の最適なパートナーでありたいと考えています。お客様に常に新しい問題解決方法を提案し、お客様が最大限の成果を達成することができるよう努めるのと同時に、高い倫理基準を持つ持続可能で公正なビジネスパートナーです。

私たちアレイマはグローバルな人材プールのアイデアを活用し、最先端の冶金のノウハウを持つことにより、常に材料研究の最前線を走り続け、ステークホルダーの皆さまとともに持続的な成長を遂げられるよう活動を続けてまいります。

History

沿　革

1961年 5 月	サンドビック・ファー・イースト・リミテッド・エービー日本支社を東京に設立。特殊鋼および完成品の販売を開始。
1966年11月	本社を神戸に移転。
1967年 1 月	スチールベルト・コンベヤの販売を開始。
1969年 1 月	超硬工具の販売を開始。
1976年 9 月	日本サンドビック製造㈱を宮城県瀬峰町に設立し、超硬工具の生産を開始。
1976年10月	日本法人サンドビック・ジャパン㈱を設立。
1978年 1 月	コンベヤ部門を分離し、サンドビック・コンベヤ・システム㈱を兵庫県西宮市に設立。
1982年 1 月	日本サンドビック製造㈱およびサンドビック・コンベヤ・システム㈱を吸収統合し、社名をサンドビック㈱に改称。
1989年 1 月	ロックツールズ事業部を創設し、直接販売を開始。
1990年 2 月	本社社屋を神戸市西神ハイテクパークに建設。
1990年 6 月	コンベヤ・システム事業部をプロセス・システム事業部に改称。
1999年 1 月	ロックツール事業部を横浜市のサンドビック・タムロックへ移管。
1999年10月	プロセス・システム事業部の物流システム部門を分離し、サンドビック ソーティング システム㈱を設立。
2000年 1 月	サンドビック・タムロック・ジャパン㈱、横浜市港北区新横浜に設立。
2002年11月	サンドビック・タムロック・ジャパン㈱、マツダアステック㈱を買収し社名をサンドビックトーヨー㈱に変更。
2004年 1 月	コロマント事業部製造部門を分離し、サンドビックトーヨー㈱へ移管。
2005年 1 月	バレナイトジャパン㈱及びカンタル㈱を吸収合併。
2007年 6 月	サンドビック ソーティング システム㈱を売却。
2007年10月	サンドビックトーヨー㈱をサンドビック マイニング アンド コンストラクション ジャパン㈱とサンドビック ツーリング サプライ ジャパン㈱に分離。
2008年 1 月	コロマント名古屋事業本部を開設しプロダクティビティーセンターを神戸事業所より移設。
2009年11月	サンドビック ツーリング サプライジャパン㈱瀬峰工場を増築。
2011年 5 月	創立50周年を迎える。
2012年 1 月	サンドビックAB 創立150周年を迎える。
2012年 5 月	本社を神戸市中央区に移転。
2013年 4 月	サンドビック マイニング アンド コンストラクション ジャパン㈱と合併。
2017年12月	プロセスシステム事業を分割し、事業を売却。
2018年 7 月	ハイペリオン部をKKRに事業売却。
2020年 3 月	商号をサンドビック マテリアルズ テクノロジー ジャパン㈱に変更。 コロマント事業、マイニング＆ロックテクノロジー事業部をサンドビック㈱に分離。
2020年 4 月	本社を東京都中央区に移転。
2022年 9 月	商号をアレイマジャパン㈱に変更。

概　要

会　社　名：アレイマジャパン株式会社
代　表　者：代表取締役社長 加藤 智久
創　　立：1961年5月1日
資　本　金：4億円
従　業　員：70名
決　算　期：12月（年1回）
本　　社：東京都中央区日本橋浜町2丁目1-1
TEL. 03-5651-8851　FAX. 03-5695-1415
ホームページ：https://www.alleima.com

KANTHAL®

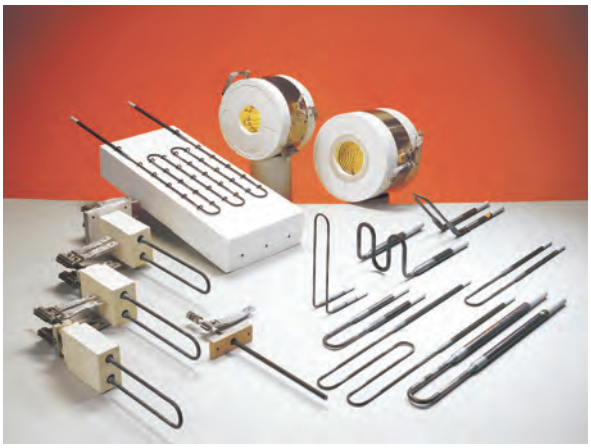
KANTHAL Company
カンタルカンパニー

カンタルカンパニーは、1931年、スウェーデンのハルスタハンマーにおいてカンタル社として創業しました。カンタルで扱っている電気抵抗発熱体は、一般の人にとってはあまり聞き慣れない製品ですが、熱技術の分野においては世界に知られたブランドです。

日本への進出はスウェーデン商社の草分けであるガデリウス商会と代理店契約を結んで始まりました。1981年にはカンタル・ガデリウス株式会社として独立、1993年にはカンタル株式会社として独立し、2005年にサンドビック株式会社と合併しましたが、2022年にアレイマジャパン株式会社として独立し、現在のカンタルカンパニーとなりました。

こうした長い歴史を経て、現在は東京（本部）と大阪の2ヶ所に営業拠点を持ち、千葉県佐倉市に倉庫及び工場を構えて、国内のお客様のニーズにあった製品の迅速な製品開発、設計、製造、販売を行っております。

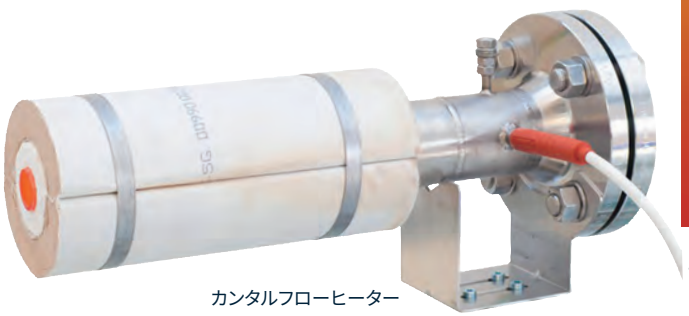
カンタルカンパニーではカンタルスーパー発熱体、スーパータル、チューボタルとAPMチューブ、フィブロタルモジュールヒーターなど従来からの主力製品に加え、フィブロタルGSO、電気加熱装置（エレクトリックヒーティングシステム）、燃焼加熱用ラジアントチューブ（シングルエンド、U型、W型）、フローヒーターなどの新製品の販売にも力を入れており、今後も常に誇り高く、厳格なビジネス倫理に従いながら、熱い思いがお客様に伝わる事業活動を行って参ります。



カンタルスーパー発熱体・
スーパータルモジュールヒーター

フィブロタル
GSO

カンタル電熱材料加工品・
フィブロタルモジュールヒーター・ラジアントヒーター
（メンテナンスフリーシステム）



カンタルフローヒーター

工場全景（ハルスタハンマー市）

▶取扱製品

- カンタル及びニクロタル電熱材料
- カンタルスーパー発熱体
- ラジアントヒーター
- 半導体用発熱体
- フィブロタル モジュールヒーター
- スーパータル モジュールヒーター
- エレクトリックヒーティングシステム
- 熱電対用高温保護管
- 高温用炉内治具
- 燃焼加熱用ラジアントチューブ
- 押し出し成形 カンタルAPMチューブ

佐倉工場

TUBE Company
チューブカンパニー

チューブカンパニーの製鋼工場はスウェーデンのサンドビケン市に位置し、原料の溶解から圧延、熱処理、検査工程を経て最終製品までを一貫生産しています。またスウェーデンの他に、アジア・ヨーロッパ・アメリカにも工場を有し、熱間、冷間加工やU曲げ加工等を行っています。

チューブカンパニーの主力商品は、オーステナイト系、フェライト系、二相系ステンレス鋼、ニッケル基合金やチタン・ジルコニウム等特殊合金のシームレスチューブ、熱交換機用シームレスチューブ、機械構造用ステンレス鋼管、配管用ステンレス継目無鋼管などです。食品産業から自動車、航空機、石油ガス・化学プラント関連機器、さらには原子力発電関連機器まで優れた耐食性や耐熱性が求められる用途で多くの製品が使われています。

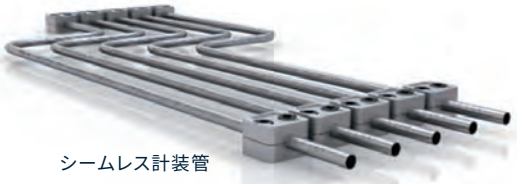
アレイマグループの世界に広がるネットワークを活用し、高付加価値製品・サービスを提供することで、今後もお客様の生産性や品質の向上ならびにコスト削減に貢献していきます。

溶解から最終製品まで一貫生産体制

排熱ボイラー用
コンポジットチューブ

SANMAC
ホローバー

U字曲げ
熱交換器用チューブ



シームレス計装管

▶取扱製品

◆シームレスチューブ
- ●計装管（コイル／直管）
- ●熱交換器用チューブ・U字曲げチューブ
- ●耐高温用、排熱ボイラー用、空気予熱機用チューブ
- ●原子力発電用、石油天然ガス用チューブ

◆配管用ステンレス継目無鋼管

◆SANMACステンレスホローバー
- ●機械構造用継目無ステンレス鋼管

◆丸棒・ビレット
- ●鍛造・圧延用ビレット　●ピーリング仕上丸棒
- ●ロックドリルスチール

◆関連品目
- ●継手・フランジ　●低炭素マンガン鋼ホローバー

ステンレス継目無鋼管・ピーリング仕上丸棒・継手類

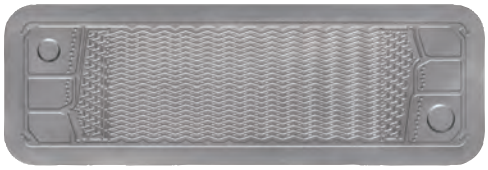
STRIP Company
帯鋼カンパニー

帯鋼カンパニーの製品はスウェーデンのサンドビケン工場で製造されています。

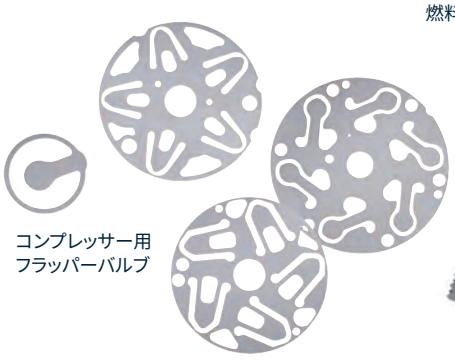
操業150年以上になる帯鋼工場は、20世紀初頭の自動車大量生産時代のベルトコンベアや、空港などにある動く歩道など、先進的な帯鋼製造技術によって産業や生活の革新を起こす製品を世に送り出してきた歴史があります。

現在、主な用途としてはカミソリをはじめとする刃物類、自動車や家電のコンプレッサーに内蔵されるフラッパーバルブおよび関連部品、印刷機械用ツールなどで多岐にわたっており、各分野でお客様の品質向上やコスト低減に役立っています。

また、自動車用代替エネルギーの主力である燃料電池の基幹部品となるコーティング済み帯鋼は将来を期待される高生産性・高機能材です。

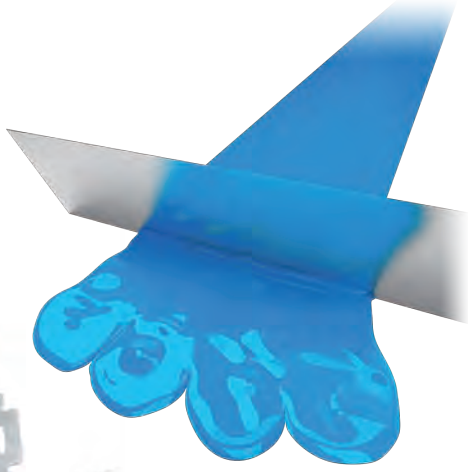


燃料電池用金属セパレータ



コンプレッサー用
フラッパーバルブ

医療用刃物



印刷機用ドクターブレード

カミソリ刃・
電気シェーバー

▶取扱製品

◆冷間圧延帯鋼
- ●カミソリ、包丁、ナイフ、医療用刃物、工業用刃物

◆ばね用ステンレス帯鋼
- ●オーステナイト系、析出硬化系、二相系

◆焼入れ帯鋼
- ●フラッパーバルブ
- ●ドクターブレード
- ●工業用刃物

◆ニッケル基合金

◆真空蒸着ステンレス帯鋼
- ●燃料電池用金属セパレータ
- ●エレクトロニクス部品

Alleima

アレイマジャパン株式会社
Alleima Japan K.K.

カンタルカンパニー
カンパニー本部
〒103-0007　東京都中央区日本橋浜町2丁目1-1
TEL（03）5651-8851　　FAX（03）5695-1415

大 阪 営 業 所
〒532-0003　大阪市淀川区宮原5丁目1-18　新大阪第27松屋ビル
TEL（06）7656-9240　　FAX（06）7659-1370

佐　倉　工　場
〒285-0802　千葉県佐倉市大作2丁目11-3　佐倉第三工業団地
TEL（043）498-2421　　FAX（043）498-2424

チューブカンパニー
カンパニー本部
〒651-0086　神戸市中央区磯上通2丁目2-21
TEL（078）265-5370　　FAX（078）265-5371

横 浜 営 業 所
〒222-0033　横浜市港北区新横浜3丁目7-18　日総第18ビル
TEL（045）594-8414　　FAX（078）265-5371

帯鋼カンパニー
カンパニー本部
〒651-0086　神戸市中央区磯上通2丁目2-21
TEL（078）265-5373　　FAX（078）265-5371

FSC www.fsc.org
ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C002089